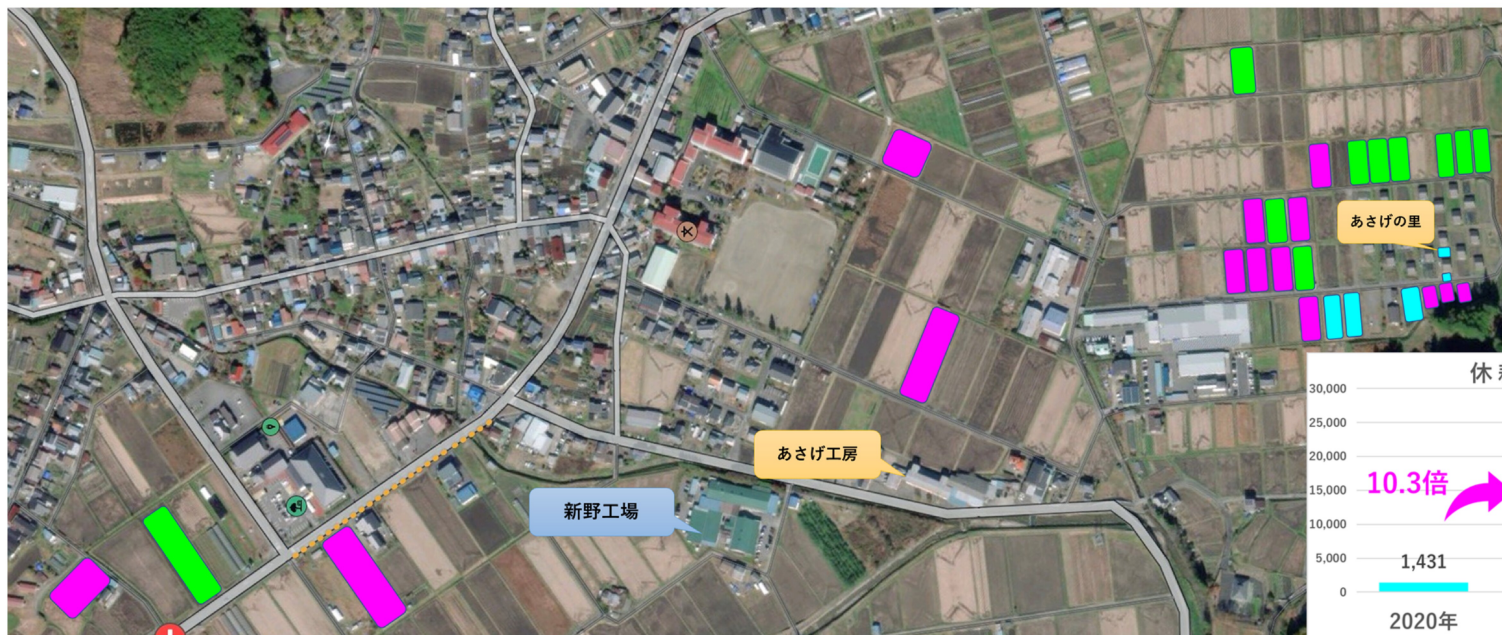
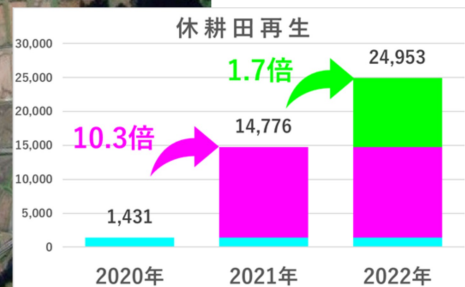


地域の期待で、2町歩半！



2022年に新しくお借りする農地が決定しました。写真の緑色部が該当する面積になり、凡そ一町歩の休耕田の再生を行います。来春の耕作農地は、全体で2町歩半に拡大されます。



あさげ新聞

地域共生推進室 発行
【14号】
2021年12月2日発行

ご意見・質問は下記のメールまでどうぞお寄せ下さい。採用された方には旬の野菜をプレゼント！

mail ;
ta-hara@koaglobal.com

1. 稲作事業

【白毛餅／コシヒカリ栽培】
来年借用農地の面積測定
田んぼの耕運と畔の草刈り

2. 薬草事業

【センブリ栽培】
病害虫と雑草防除剤の散布
越冬準備

3. 園芸事業

【門松製作】
門松の土台作り
青竹の切り出し
ほおずき栽培予定地の土壌分析

【野菜栽培】

ダイコン、サトイモ、キュウリ、白菜、キャベツ、チンゲン菜の収穫
野沢菜収穫と野沢菜の漬け込み
ほおずき畑のマルチと防草シート撤去
ほおずき畑へ牛糞施肥とトラクターでの耕運
玉ねぎ畑の草取り

4. 藁細工事業

福縄を南信州米俵保存会へ納品
社員向け正月締め飾り生産

5. お客様見学

東京農工大学大学院
農村地域計画学研究生来訪



稲作事業

〈田畑の整備〉

今年の収穫も終わり、来年の肥料になるように田んぼへ稲わらを撒き、畔の草も入れ込みトラクターで起こしました。来年も豊作になる事を期待します。



薬草事業

〈センブリの栽培準備〉

来年、三回目のセンブリ栽培に挑戦するため、バスアミドマンに登場頂き、今年病害虫防除と雑草対策に効果のあったバスアミドを散布しました。



今年も登場！
バスアミドマン

その後、トラクターで土と混練し、土中の水分とバスアミドが反応し発生するガスを封じ込めるため、ビニールシートで覆いました。覆った後に暴風対策でマイカー線を張りビニールシートを押さえました。



〈センブリの越冬準備〉

あさげの里の朝の気温が零下になってきました。センブリも寒かろうと思い、防寒対策をしました。遮光ネットを二重にベタ掛けし、更に発芽の保温に使用した有孔ポリフィルムを上掛けし、越冬の準備をしました。これで凍み上がった時の霜柱でセンブリの根が露出し、枯れてしまいうリスクは軽減されます。



園芸事業

〈門松製作〉

門松作りがスタートしました。前段取りの土台作りとして、今年獲れた白毛餅の藁をすぐり、こもを編みました。



こもをパール缶に巻き付け二カ所縄じめをします。



メンバーの山から青竹を切り出し、二メートルに切断しました。



切り出した竹の頭を斜めに切り落とし直径を測りました。竹は直径十一センチメートルから七センチメートルまでのものを太い順に並べました。



その後、竹を太い方から順に三本セットにし、カットした先を三角形に組み上げ、中心の竹が百五十センチメートルになる様にチェーンソーで切り落としました。



組み上げた竹が時間の経過とともに乾燥し緩んで来たので再度テープ締めしパール缶に入れて砂で固定しました。



梅の枝と南天を入れる竹筒を差し込んで土台が完成です。



12月に入ったら松・南天・梅を調達し、お客様の希望納期に合わせて飾りつけをし納品して行きます。



野菜栽培

〈野沢菜漬け〉

野沢菜千株の内、約二百五十株をおせんしょ市場へ提供し、残りの七百五十株は蔵の厨房をお借りして野沢菜のしょうゆ漬けを作りました。



今年は漬け込み量が多く、漬け込み時のバラツキを無くすように昨年のレシピをもとに漬け込み汁を作り漬け込みました。収穫時の重量は三百から三百五十キログラムありましたが、粗洗浄後一日置いた為か水分が抜け、漬け込み量は一樽二十キログラムになり十三樽になりました。

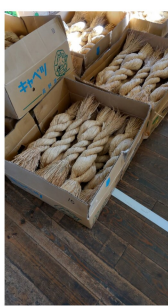
12月初めには社員の皆様にご賞味頂けるようにお届けする予定です。



藁細工事業

〈福縄〉

南信州米俵保存会からご注文頂いた福縄も8月から生産を始め11月で完了し納品しました。



下伊那地域でも販売されるので見かけた方はご購入下さい。

〈しめ飾り〉

売れ筋ランキング！



しめ飾りご注文頂きありがとうございます。右の写真が売れ筋ランキングです。まだご注文を頂けてない方は、12月15日まで受け付けますので是非ご利用ください。

1位めがね 1,000円
2位弁財 800円
3位の字B 800円
4位の字A 1,000円
5位タッセル 800円